

# キャリア形成プログラム

(リハビリテーション医学教室)

取得を目指す専門医資格	リハビリテーション科専門医
-------------	---------------

## 【コースの概要】

### 全体像

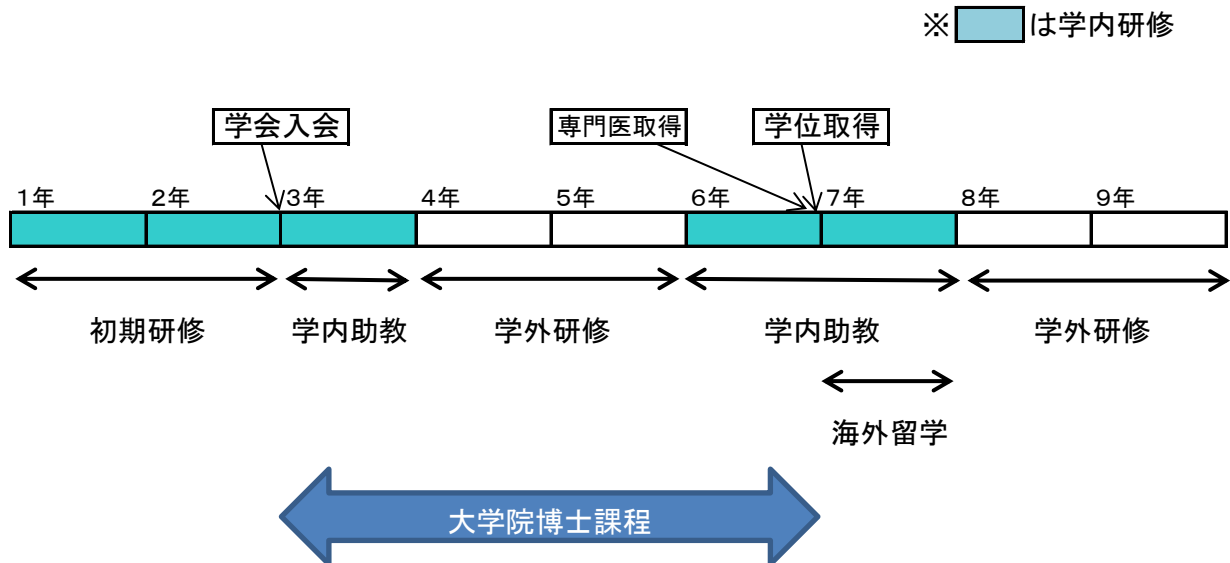
リハビリテーション科専門医が取得できるのは、医師免許取得後5年以上及び日本リハビリテーション医学会加入後3年以上を経過していることが必要である。そのため、最短で卒後6年目の3月に専門医を取得することができる。また、並行して大学院博士課程に入学し、学外の研修期間中も週1回は本学で研修を行い、同じく最短で卒後6年で学位を取得できる。研究面では、リハや運動、スポーツの有効性や安全性を明らかにするため、リハ医学の臨床・基礎研究を積極的に行う。

本学での研修期間内に海外留学もする。

当院では、多くの診療科医師が急性期リハを当然のことと認識しているため、急性期治療と並行して積極的な急性期リハを行なうことができる。リハチーム全体で安静臥床は確実に身体機能を低下させるリスクであると認識しており、重症患者を含め、あらゆる疾患に対して徹底した急性期リハを実践している。また、リハ医療の特色のひとつは、臓器にしばられないことであり、総合的な医療を実践することで、地域医療に貢献できる。なお、本学では、リハ科の入院患者の全身管理を通して、患者の全身を診ることができ、地域中核病院でも、指導医のもとで、「全身を診る」リハの臨床に従事する。

以上のような学内・学外の研修を通じて、総合診療技術を習得でき、専門医取得後には地域中核病院の医長として活躍し、プログラム終了後には本学大学教員となる。

### ・9年間の研修予定(モデルコース)



※ 海外留学先には、テキサス大学ダラスプレスビテリアン病院、メイヨークリニック、ニュージャージー医科歯科大学、ラフバラ大学を予定。

